

# コンクリート用収縮低減剤 テスタF

## テスタFとは

テスタFはコンクリートの乾燥収縮を低下させ、ひび割れの発生を抑える目的で開発された収縮低減剤です。

## テスタFの特長

### 1. 乾燥収縮量を大幅に低減します。

テスタFの持つ優れた水の表面張力低下能力により、コンクリートの乾燥収縮量を大幅に低減し、収縮ひび割れを抑制します。

### 2. 付着性状が向上します。

乾燥収縮量の低減により、付着性状が向上し、耐震補強工事等における部材の一体化に効果があります。

### 3. 生コンプラント等での同時添加でも後添加方法でもOKのため、現場条件に応じた使用が可能。

テスタFはA E 減水剤や高性能A E 減水剤などのコンクリート用化学混和剤と同様に、生コンプラントや二次製品工場でミキサに水と同時に投入して混練する方法と後添加方法、すなわち流動化コンクリートのように現場で添加し、二次混練する方法のどちらでも効果は変わらないため、現場の条件に合わせた使用が可能です。

### 4. 良好な施工性が得られます。

テスタFを使用したコンクリートの締固め性、コテ仕上げ性、ポンプ圧送性などの施工性は無添加のものとほとんど変わりません。従って通常の施工機械を、通常の状態で使用できます。

### 5. コンクリートのフレッシュ性状は無添加の場合とほとんど変わりません。

テスタFを使用したコンクリートのフレッシュ性状は、実施工において無視できる程度しか変わりません。従って、特別な配合を設定する必要は全くありません。

### 6. 良好な圧縮強度が得られます。

テスタFを使用したコンクリートは、安定した強度発現性を示します。長期強度においても、セメント量の3%以内の添加量ではほとんど影響がありません。



18kg缶

テスタF使用時のコンクリート配合例

粗骨材の最大寸法 G <sub>max</sub> (mm)	水セメント比 W/C (%)	粗骨材率 s/a (%)	単位量 (kg/m <sup>3</sup> )				テスタF 100 (C×%)	凝結 遅延剤 (C×%)	A E 減水剤 (C×%)
			セメント	水	細骨材	粗骨材			
40	40.0	35	340	136	634	1205	1.0	0.3	0.075

基本性状：スランプ2.5cm, 空気量4.5%, 設計基準強度45N/mm<sup>2</sup>



施工状況

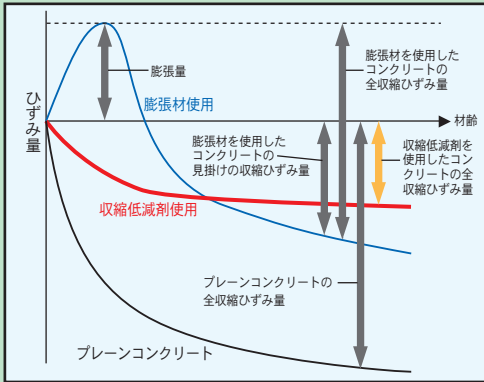


施工3年半経過後の状況  
(右側車線に使用。ひび割れは認められません。)

## 収縮ひび割れ防止の概念

収縮ひび割れを防止させる方法としては、以下の2つの方法があります。

- ①膨張材を使用し、コンクリートを初期材令において膨張させることにより、見掛けの収縮ひずみ量を小さくする方法。
- ②コンクリート中の水の表面張力を下げることによって、引張応力を緩和し、乾燥収縮量を低減させる方法



テストFは②のタイプの材料であり、わずかな使用量でコンクリートの収縮ひび割れを抑制します。

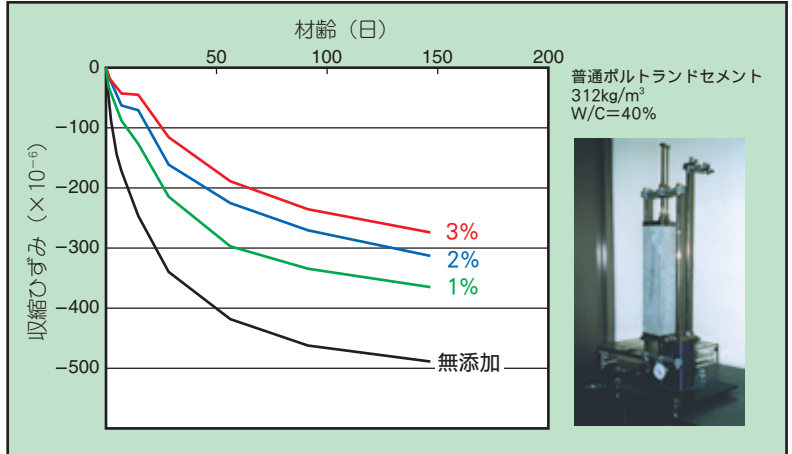
## 性状と荷姿・標準使用量

項目	性状
主成分	アルキレンオキッド系化合物
外観	無色～淡黄色液体
比重	1.04 (20℃)
pH (5%aq.25℃)	4.5～7.5
溶解性	水、アルコールに可溶
荷姿	18kg缶, 200kg缶, タンクローリー (バラ)
標準使用量	C×1～3% (混練水の一部としてご使用ください)

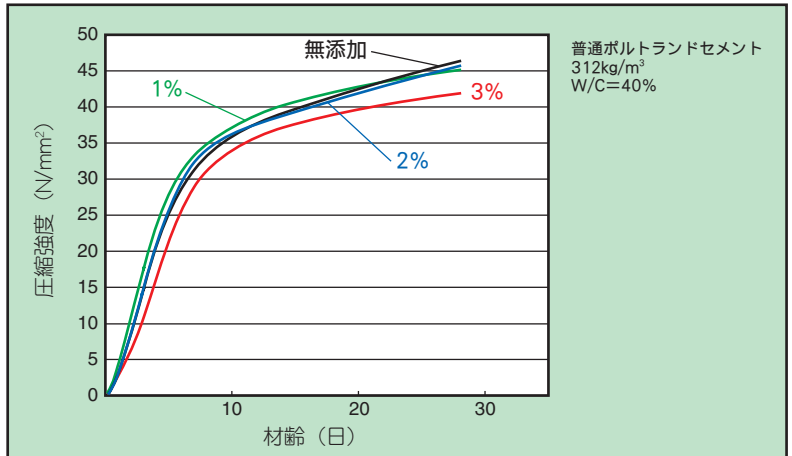
### 取り扱い上の注意

- 取扱いに際しては、保護メガネや保護手袋を使用してください。
- 作業場は換気をよくしてください。
- 眼に入った時は、直ちに水で十分洗浄してください。
- 皮膚に付着した時は、石鹸水及び水で十分洗い流してください。
- 保管は高温にならない場所で、必ず密栓して行ってください。
- 可燃性成分を含みますので、取扱いには十分気を付けてください。
- 火気厳禁 (第四石油類)
- ご使用の際は、製品を安全に取り扱うための情報が記載されている製品安全データシート (MSDS) を参照のうえ、ご使用ください。

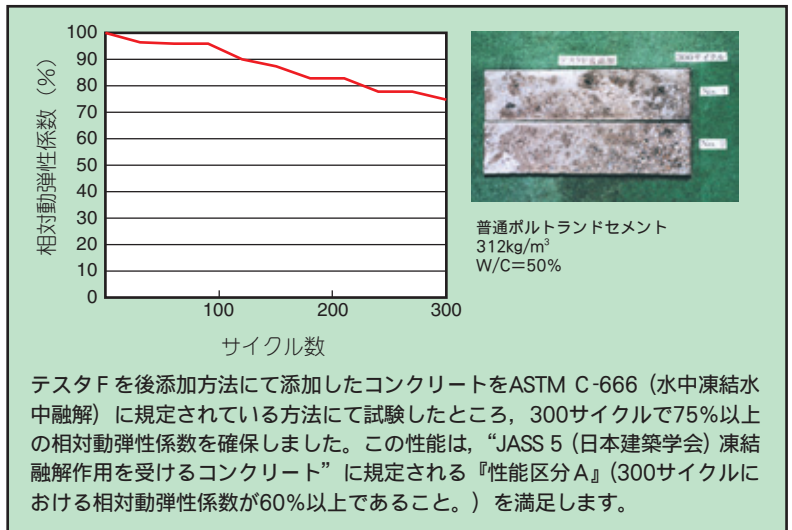
### 乾燥収縮



### 圧縮強度



### 凍結融解抵抗性



物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート (SDS) をお読みください。本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

## 住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28  
 大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)  
 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目(札幌HSビル10F)  
 東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル(SS30)3F)  
 北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)  
 名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)  
 四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)  
 広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)  
 福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙博多ビル8F)

電話 03(5211)4752 Fax 03(3221)5624  
 電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708  
 電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017  
 電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516  
 電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193  
 電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273  
 電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870  
 電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646  
 電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は